

バスト週報

第1382号
 昭和四十八年
 十月十五日
 月曜日発行
 Director
 Koiti Mori
 Redator
 Shion Oda
 Rua Pres.
 Vargas, 188
 C. Post. 112
 Fone, 40
 BASTOS
 C. P.
 Annual
 Cr. 30.00
 Adiant.

No 1382, BASTOS, 15 de Outubro de 1973, O PROGRESSISTA, Rua Pres. Vargas, 188, São Paulo, A. R.

水紋 42 楽しい老後の生き方 2

木村健一先生講演筆記

老人が居なければ、お客様も来ないし、お茶を出す手間もいらない。嫁はそう考
 え、老人は自分勝手に、自分の力だけで
 生きて来たところ、自分に喰い違いが
 あります。自分も努力をしたであろうが
 ・家族の協力によって成就できたことを
 考えるべきではありませんか。今日自
 分がこうして居ることの出来るのは、家
 族の力は勿論、世間一般の協力によるも
 のであることを考えるべきではなからう
 かと思ふんです。
 すべて自分以外の力のお蔭によるもの
 だと感謝する気持ちにならなければいけな
 いと思ひます。
 よく「しあわせ」「しあわせ」という
 言葉をききますが、あれは「しあわせ
 ということだそうです。右の掌のシワ、
 左の掌のシワ、このシワをびったり合わ
 せたときが伴へシアワセ」なのだという
 ことでもあります。
 このしあわせは、すなわち感謝の心持
 ちであります。相手の気持ちを押しはか
 けて、ああ、ありがたいなと、悟る
 とき、はじめて家庭の環境に添って行く
 ことができるのであります。
 相手の身になって考えることは、家庭
 に於いても、社会に於いても同じように、
 皆様のお蔭で、自分がこうして居れるん
 だという感謝によって、ほんとうの伴世
 がつかめると思ふのであります。感謝が
 あるから奉仕が出来るのであります。その
 気持ち、まだまだ自分には役に立つ者だと
 いう自覚につながらるのであると思ふん
 です。

○ 経済力、お金も大切、健康も大切で
 あります。この感謝の気持ちを持たない
 と、ほんとうの幸福はあり得ないという
 ことになり、幸福というものは、手
 えられるのでなく、自分でつかみとるも
 のだということですね。そういう態度で
 進むことが、幸福をつかむ道なのであり
 ます。これが二日間にあたる会議の結論
 であつたわけですね。
 今迄説教じみたことを申し上げて甚だ恐
 縮であります。それは、希望をもつ
 て生きて行くということはどういうこと
 とであるか、一つ実例を以て、お話を

WAKAMOTO

生 ねつき弱い子にも

CRESCIMENTO SADIO
 ENZIMAS+COMPLEXO B+MINERAIS

百倍強力 WA KA MO TO

申上げます。

今夜お集りの皆さんの中に九州のお方
 が居られます。なう、手を上げて下さい。
 はあ、あなたはい九州ですか、実は私、先
 年九州大牟田へ参りました時、大牟田に
 大変かわつた老人が居るから、会つて見
 ませんかというので、その老人を訪ねて
 みました。そのお年寄りは、志村治三郎
 さんという八十七歳の老人でしたが、私
 が訪ねた時は八十六才で、大変元気な人
 でした。
 此のお年寄りは、力仕事をすること
 大変興味があるし、奥さんは春子さんと
 いって、三十六歳なのです。八十六才に
 もなつて、五十七才がいの若い奥さんをも
 つて、しかも夫婦仲が円満だということ
 で、私は大変興味をもつたわけでありま
 す。
 前以つて電話をかけておいたので治三
 郎さん大変喜んで私の行くのを待ちかねて
 おられました。そこで訪問しますと、さ
 あさあといつて座敷に通され、茶菓の接
 待を受けたのであります。私の顔をじ
 つと見て、あなたも私の力技を見たとい
 うので、カメウを見せ、是非力技を見せし

たいと申しましたら、それでは庭でやるから、あなたもは縁側へ来て下さいというので縁側へ行くこと、ちやんと一俵の米俵がおいてある、米一俵といつても、中に何がはいっているか疑わしいと、そばに寄って手をかけたが、打かたかず、しりとして動かない、六十キ口は十合ある手応でありました。

そこへ治三郎さんシマツ一枚になり、頭に鉢巻きをしめて出て来て、縁側の米俵を引きよせ、ひよいと肩にかつぎ、庭を一周した。私は驚き、あなたのはもろ判つたと、尚も一周しようとする治三郎さんを引止め写真撮りました。

治三郎さんという方は、五尺そこそここの小男であるが、体格はなかなか見事でありました。そこで、その年で、どういう力のあることは、何か秘密があるのだらうと、訊いてみると、特効薬があるというので、その特効薬というのを見せてもらいたいと云いますと、奥さんと呼んで、あれを持って来いといひ、何かどうどろしたものを見せました。その特効薬というのは、アロエを根本から切りとつて攪りつぶし、それに蜂蜜を加えて、よくすりつぶしたもので、これを朝夕一匙ずつのんでいふのだということでした。味をみて下さいといひ、嘗めさせられました。なにが青くさいような、甘いものでした。

それではというので、第二の質問にかりました。では、あなたは、食事は、どうですかと訊いてみますと、治三郎さんは、わざとわざと茶碗をもち出して、田舎茶碗に朝は四杯、ひると夜は三杯づつ食べるんだ。魚でも肉でも何でもおかずはおいしくいただけいでいる。

私は、老人食としては、少し多いのではないかと、米食は不適當のように思っているが、と申しますと、治三郎さんは、自分朝四時から力仕事をするので、ごはんを食べても充分に消化する。

米食をして血圧が上るとか、神経痛の起るといふ老人は、自分では何もせず、人をあごで使つて、自分の鉢を動かさない人だ、というんです。自分には必要ない力を得るために、適当な食事をしているというのです。考えてみれば、成程それとも一理あると思われれます。私が治三郎さんから学んだところは、その人に要する体力と食事を自然に調節することにあるんだということです。

第三の質問は、治三郎さんは八十六才、奥さんは三十六才で、五十も年がらうが、奥さんが、それで夫婦生活はうまくいっているんですかというので、治三郎さんなかなか元気なことを云っていました。

VENDE-SE A LOJA

讓店

盛業中の

カザクリ茶丸

手不足のため

格安に譲ります

御希望の方は、昼間は

カーザクリスタイルへ

夜は自宅へお出下さ

委細面談
カーザ福森

ESCOLA DE DATILOGRAFIA
DOM BOSCO

Rua Presidente Vargas 117, Fone 25

タイプライター学校

マキナを全部新しく取りそろえましたから、
みなさん、勉強してください。

石橋さち子

今夜の席では御夫人も多し。若い方も居られるので、そのまま、ここで発表する事は遠慮いたしますが、治三郎さんの所では、主つ女の女の子が居りますが、もう一人男の子がほしいんだ、という元氣さであります。

ほんとだろうか、奥さんの春子さんに尋ねますと、春子さんは、ほっと顔を赤くして、何しろ肉の主人は、気が若いもんですから、声も若々しく、歌も唄いながら仕事をし、夜洗浴にも元氣に唄っているとのこと。

治三郎さん、あなたの得意の歌は何ですかと訊いてみますと、胸を張って歌謡曲だと、得意の一曲をやって見せました。第四の質問をしました。少しいじわるの質問です。秋子さんは今三つですが、この将来を考えませんか、といいますが、治三郎さんは、秋子は一人娘だから、よそにお嫁にやろわけにはいかない。二十ぐらいになつたら婿をもらつつもりだ。近所の男の子で六つになるのを見つけてあるが、秋子が二十になると結婚するだろう。いすれ孫も生れるだろうから、その生れる孫の名前までもうきめてあるんですよ。男の子なれば夏夫とつける。女の子なら夏子です。

そうなるかと、私の家は春子、秋子、と、夏子と一年中の季候が揃つて恰どいい呵々大笑されるのであります。男の子ならば、学校へ行くようになったらランドセルを買ってやるが、と。

私はこれをきいて全くすばらしいお爺さんだなと思ひました。治三郎さんは、秋子さんが結婚する時には百歳を超えませし、孫にランドセルを買つてやる頃は百十歳位になりませうか。孫が学校を卒業する迄は、私はがん張らなくちゃと、治三郎さんは張りきつていらぬのです。治三郎さんは健康長寿の秘薬アロエを見せてくれたが、ほんとうに治三郎さんを支えているものは、将来に対する希望に胸をふくらませ、生活の設計に胸を弾ませている。これがほんとうの健康長寿の秘法ではないかと、感心したのであります。

扱て、老人のみにくい態度は、何でありませうか。昔はよかつた。昔はこうだったと、過去のことはかりくり返し、将来に希望をもたないことであるといわれております。

老人にとつても一番いけないことは、何もする仕事がないことでありませう。淋しがってないで、自分に適した仕事を探し出して取り組むことですね。又老人にとつて一番淋しいことは何でしょうか。それは、仲間はずれされることです。

何故仲間はずれにされるか。こういう人は自分本意でしか物を考えないから、自分ばかりを主張し、人の言うことをきかない人です。又老人にとつて何が一番みじめであるか、これは病弱のため、自分のことを自分で無理できない人なんです。只今お話ししましたように、過去にしがみついて、将来に希望をもち得ないこと、仲間はずれにされること、仕事のないこと、病弱であること、この四つにさわらないため、あくまで健康に注意するところが大切であります。(つづく) 木村先生の御講演より

車き逃げ

去る十月五日午後ウイラサツホ区付他で女の兎をはねとぼしたカミニオンがあつた。この場合切兎なら親の不注意であるが、少女なら運転手が悪いことなる。運転手は人々のリンチを怖れたか車を放つたらかして雲を霞と逃してしまつた。一旦は逃けても後日自首して出るケリスもあるが、他州で潜伏してしまふ例もある。何とも割りきれない事故である。

お知らせ

生長の家講演会

期日 十月十九日 午後八時

場所 イグレージマ生長の家

講師 パラナ州 ウライ在住

柳瀬喜三太先生

皆さんお馴染みの柳瀬先生の素晴らしい真理のお話を浅れなく御来聴されませう様御案内申上げます

主催 バストス誌友相愛会

バストスの皆様

移る移民の生涯

佐藤正雄 作

二幕目の中頃 (主人公の山野の宅)

「椰子壁の荒れ小屋。屋外には枯れかかった柿島、ミリーヨの枯れたのが見える。主人の山野は病臥中、妻との対話」

(前号より続く)

妻の春子が

「そんなに気を落さないで。あなたにもしもの事があつたら、この三人の子供をどうするのよ」 山野は顔を上げて

「俺もその事だけが気がかりだ。でもな借金も重なるし、食べる物もあといくらもないんだらう。こんなになつても医者を呼ぶ金もないし、つくづく生きるのが嫌になつて来てね」 (こゝまで前号に書いた)

二人また泣く。そこへ隣りの耕地の男、高橋、花道より現われて、藁小屋に近づき、周囲を見渡し、眺めて、ひとりごと「これはひどい。このピツカでは何も彼も全滅だなあ」 小屋の戸口に立ち、

「こんちわね、山野さん」 春子は急いで涙をふいて立ち上り戸口に出る。

「マア奥さん、今日は。山野さんいろいろか」 山野は、おります。汚していますかどうぞ」 高橋家に入つて、寝台の山野を見て驚き、

「やあ、これは。山野さん、病氣だったんかね。道理で……畑にも見えないうだ」と近所の人達もいつてるんで、心配して一寸寄つてみたんだが……」 どうかね、かげんは？」

「有難う、高橋さん、今度はやられましたよ。下痢と熱がひどくてね。とても起きられせん」

「アミーバじゃないかな。医者よんだの」 春子は高橋に椅子をすすめて、

「それが、お医者さんに私う金もないもんですから、日本から持つて来たお薬を飲んでいきますが……」

「奥さん。そんなことをしていたらご主人は死んでしまうよ。そうだ。ではこうしよう。町の連合会長の吉田さんに頼んで、サンタカ、サに入れてもらいましよ。吉田さんは外人間にも随分願が広いから多分出来ますよ。いきなり行つても受けつけてくれないが、それなら出来ると思ひますよ。いいかね山野さん。わし今からすぐに行つて頼んで来るからね」

高橋行きかけて戸口の廻でちよつと引返して、

「こんなことを云つて失礼かも知れんが、あんな達マンチメントあるの？」

死亡通知並に会葬御礼

長男、星正信 (24) 儀去る十月五日夜八時突然急死いたしました。よつて十月六日午後五時自宅出棺、バストス墓地に埋葬いたしました。此の儀生前辱知の皆様、に御しらせ申上げます。

尚葬儀に際しましては御多忙中態々御会葬下さいました上御丁寧な御香料並に花輪など御恵供頂誠に有難く厚く御礼申上げます。

一々御礼に参るべきです。が取込み中其の意を得ず誠に失礼乍ら紙上を以て御礼申上げます。

一九七三年 十月七日

バストス中央 第六区

父 星 留 作

母 〃 みどり

親戚 星 とし子

〃 マノエル

松 川 龍 喜

ローザ

ブラ拓製糸株式会社 様

バストス中央第六区 様

バストス御存任各位 様

会葬者各位 様

春子はうなだれて無言。「やあ、失礼失礼、どうしてこんなことを訊くかというかね、実はさっきさよとナベンドに寄ったら、あのイタリアーノの爺が氣毒がって、どうしてパトリシヨを扶けてやらんか、とって話してくれたんでね、あんた達みたいにまじめに働く人はめったにない、わしはいつも感心していたんですよ、どうかね、わしの家も大家族であんまり来じゃないが、作付けが少し早かったお蔭で半作位いの収獲はあったから、少し無理すれば、あんた等が食べる位の保証はしてあげれると思ふんだ。ナ、二、山野さんが元氣になつて働き出して、うんと儲けたら、その倍にして返してもらおうよ、アハハハ」高橋歩み去り、春子その後姿に向つて丁寧に頭を下げる。

幕

第三幕・開幕前の解説（朗読）

隣り耕地の高橋の好意と尽力により入院した山野は、やつと一命をとりとめたが、代りに病魔は最愛の娘、愛子を夫婦から奪い去った。打ちつづく不幸に耐えかねて、一時は一家心中まで本氣に考えた山野であったが、妻の励ましと、高橋の親身の協力が、あり、これではいけないと、漸く今迄の自分の行き方の間違いに氣付いたのである。思えば、折角大きな希望を抱いて此の地に移住した以上、永住の覚悟をなすべく腰を落さすべく、堅実な営農をしなすべくは駄目である、今迄は、あまりもあせり過ぎた、と大いに反省した。そして、この苦しい体験で、つくづく医療の必要を思い知らされた夫婦は、自分たちの子供のために役立たせようと、再び新しい希望に燃えて、このどん底から立ち上ろうと誓い合った。それから約二十五年、まだまだ種々の艱難辛苦もあったが、やがて山野一家にも少しづつ幸運が訪れ、事業も段々と軌道に乗り出したのであった。今では、望み通り土地も購入して自作農となり、村の日本人会の学務部長も勤め、人々の人望も厚く、安定した生活を樂しむようになった。村のグルッポを出た長男の一郎は、パイの片腕となつて、よく働き、逞しい青年として成長し、昨年は、同村の娘を世話されて嫁に迎え、盛大なカザメントをした。学業成績のよかつた次男マリオは、先生の奨めもあり、上級の学校に進み、山野と一郎が苦勞して学費を送りつづけた

甲斐があつて、遂に念願のサンパウロ市の医科大学を優秀な成績で卒業した。今日は、サンパウロに出るから六年、兄一郎のカザメントにも卒業論文にとりこんで出席出来ず、その間一度も帰省しなかつたマリオが卒業の報告に帰つて来る待ちに待つた日である。（次号へ）

恍惚の人

25

門谷さんのお婆ちゃんはなかなか親切で、彼女の分もお弁当を作つてあげたりすると大変喜んでくれ、万事うまく行つているとはいうものの、勤めに出ている間中、船子は氣がかりでならなかつた。年末年始に日曜がつながつて、五日つづけて家に居られるというのは、なんとあつても茂造のために安心というものである。

米屋に眞餅の注文は出さなかつたけど、信利も敏も餅が好きなので、ビニール袋に入つたのし餅をマーケットで買つてきて、火鉢の炭火に網をのせて焼いた。一久ぶりだねえ。やっはり餅はこうやつて喰うのが本当だ。信利まで喜んでいゝ。醤油をつけ、海苔で巻いて渡すと、もちろん茂造も手を出し黙々と食べている。

お知らせ

来る十一月一日・二日のおぼんには例年のように、墓地前に売店を出張いたしますから、御利用下さい

（お寺にもおいてあります）



バストス仏教婦人会

「総入歯でよくこんなものか喰えるな
また信利がわるい癖を出した。いくら
自分が歯医者通いをしていいるからとい
て、入歯のことばかり言うことはないじ
やないかと、昭子は腹が立った。教も辟
易している。」

「昭子、親爺が入歯を洗っているのを見
たことあるかい」
昭子はもう我慢しきれなくなつて、離
れの押入れに入っている古入歯の詰った
箱を夫に見せてやろうかと思つた。その
時、

「こ免下さいませよ」
匠先きに門谷家の老婆が、にこにここ
した顔を出した。

「あら、いうっしやいませ。いつもお爺
ちゃんがお世話になつてすみません」
「いいえ、どう致しまして、まあ明けま
しておめでとうございます」

丁寧に頭を下げられて、昭子の方は当
惑した。この家が喪中なのを、お婆ちゃ
んが知らない筈はない。姑が死んだとき
、顔にかける白布だの、魔よけの双物だ
のと指図したのは、みんな彼女だった。
それが喪中で年賀をしない家に新年の
挨拶に来ていいるのだ。

「お爺ちゃん、門谷さんのお婆ちゃんが
いらしたんですよ」
少し慌て気味で茂造を呼ぶと、彼は炬
燵の向うから顔を上げて、

「はいはい」と言う。
「敬老館で新年会がありますのでね、立
花さんもどうかと思つて誘いに来たんで
すよ」

「あのオ、うちは喪中ですが」
「かまいませんよ。そんなことは、もう
私たちの齢になればね、死ねばおめでた
いって言われるんですよ。立花さん、御
一緒にいかがです」

「そういうことなら連れていってちょう
うというので、昭子も手伝つて前広に替
え、外套も着せ、お願いしますと頭を下
げて送り出した。ちよつと気になるの
門の外へ顔を出してみると、長身の茂造
と小さなお婆ちゃんは並んで手を繋いで
歩いて行く。

「へええ、幾つになつてもその道は昏く
ならぬのか。親爺が溫和しく手を度
かかっていたのかい。老人クラブの新年会
というの、どんなことをするのだから」
「あなた、見に行つてらっしゃいよ」
「嫌だよ」

この頃、こういう話になると信利は、
すぐ不機嫌になつてしまふ。立上るとゴ
ルフのクラブを取つて庭に出て、素振り
を始めた。餅ばかり食べていて運動不足
を感じたのだから。
これにして正月休みに夫が家にいる

整正体術とは

読んで字の如く、体を整えろ
方法です。

頭のこっぺんから、足の爪先まで
血の巡還をよくする術であります。
○頭痛。リようまち。神経痛。不眠
症。足、腰の痛み。ゼンソク。
肩のこり等、血の巡還から来る病
氣一切全快します。お試し下さい。
昼夜アテンデしております。

榎はやの

ルア、マレシアル、フロリアノニ四九番
電話 三三六六番
新治療室ができました

のは何年ぶりのことだらうと、昭子は考
えていた。元日は上役の家に年始に行
て、帰りは必ず深酒をしていたし、二日
、三日のどちらかは年の麻雀大会が必
ずどこかで催されていた。そして、ゴル
フ。それが今年には喪中というので全部断
つてしまったのだらうか。夫の健康のた
めわるいことではなかったと昭子は考え
た。もう若い頃とはちがつて信利も深酒
の翌日は疲れがひどい。茂造の姿が自分
の一生の延長線上にあるようだと、言つた
言葉の思い出す。喪中を口実にして、彼
もたつぷり休養をとろうとしていいるの
らう。昭子もまたそのつもりだった。
正月の祝いといつても新巻の鮭も一本
買つてぶら下げたてあるし、おせち料理は
保存のきくものが多いので一通りデパー
トで買い込んでいいる。お正月休みに昭子
は何をしようという計画は立ててなかつた。
た。何しろ思がけず年末に姑が死んで、
茂造と一つの屋根の下で暮すというこれ
までとは違つた暮が始つていいるのだ。茂
造は必ず夜中に一度は尿意を催すので、
そして決してこの家の洋式水洗便所では
用を足せないの、結局のところ昭子が
一階に寝て、夜中に茂造が起きるとすぐ
両戸を開け、庭に連れ出すというのが習
慣になつていた。

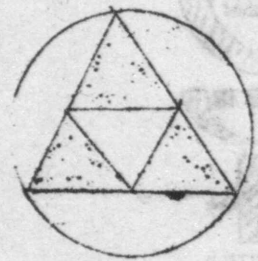
つづく

AVEMAX アベマックス

- 最高産卵の時には特に
- 暑い日の続く時に
- 一日でも長くもつ様に



お試めし下さい



VITASA

T.USHIAMA



(恍惚の人) っつく
 離れにわざわざ入って行くのは面倒だし、茂造の方もそれまで我慢出来ず、庭で犬のように用を足すのである。このところ天気が続いているからいいようなもの、雨や風の強い日には、どうなるというのだろうか。大晦日に思いついてデパートで浚織を買って来たのだが、妙法寺の除夜の鐘が鳴り終って、かみ練習させてみたと、ころ、やはり茂造は悲鳴を上げて、出ませんよ昭子さん、と言った。毎夜、茂造が水煙をあげて用を足すところで、今は信利がクラブを振っている。昭子はほんやりそれを眺めていた。信利にそれを言え、彼はたちまちまた不機嫌になって、ゴルフの練習などやめてしまおう。う。あの入歯の箱と茂造の小用の場所について、は決して夫に言えない秘密になっている。
 五時になっても茂造が帰って来ないので、ようやく信利が腰を上げ、敬老会館の方へ様子を見に出かけた。何もかも昭子まかせにも出来ないと思っただろう。昭子は昭子で、敬老会館の方に行けばいいけれど、もし門谷さんのお婆ちゃんだけしかいなかったら、これはいつさや京子が息を知らしたときよりも大変なことになるかと心配で、怯えて見送ったのであった。

「敏ねえ、あなたもいよいよ来年は受験だから大変だけど、お爺ちゃんのことも少しは考えてあげてね、ママも出来るだけ早く帰るけど、夕方はなるべく家にいたいよ。」
 「ママたちもまだ慣れないから、お爺ちゃんの手も何も呑みこめていないけど、慣れれば大丈夫だと思っから、それまで協力してね。」
 「気楽にした方がいいよ。ママ、昔のお爺ちゃんみたいなのに気難しかったら、私も大変だったよ、きつと。」
 「私もそれを思うのよ。子供に返ったみたいで、しかも病気が、頭からがみがみ言われて、しかも病気が、なんているのよ、それに、楽かもしれないわ。」
 「子供って、動物だね、あれは。」
 「まあ、敏。」
 「犬だって猫だって飼主はすぐ覚えるし、危れないんだから、自分に一番必要な相手だけは本能的に知っっているんじゃないか。」
 「敏は減多なこと、茂造のことについて、親と語りあったことはなかったが、彼なりに観察をしていたらしい。」
 「ママが飼いだといふの。」
 以下次号へ

著者 有吉佐和子

第四次

中東戦、火蓋を切る

A とうとう、エジプトとシリアがイスラエルに戦争をぶっかけたね

B シリアのことはよく知らなかつたが、エジプトは、多分やるだろうと思つていたよ。五年前の六日戦争の時、当時のナセル大統領が、イスラエルの経済封鎖をやつた時イスラエルが怒つてカイロを爆撃した時の戦争さ。陸軍はシナイ半島でさんざんにやうれ、砂漠のシナイ半島はイスラエルにとられてしまった。

A イスラエルが占領地をとつてしまつたのは、領土的野心があつたんだらうか。

B あつたようでもあるし、なかつたようでもあるし、何ともいえないが、ソ連が大戦の終結のどさくさにまぎれて日本の北辺領土四つの島をとつてしまつて、ありやもう解結済みだと、うそふいてるだらう。あれにヒントを得て、自国防衛の完全な目的がつかまで保留するといつてゐる……

A サダト大統領になつてからエジプト国民は威武を示す必要上、イスラエルに返せ返せと何度もかけ合つてゐるが、イスラエルは知らぬ顔の半兵衛をきめこんでゐるが、ありや少レドイヨクではないのかね。

B 返還交渉に応じないのには相当の理由はあるだろうが、理由の如何によらず、エジプト人を刺戟してゐることは事実だ。国民から突き上げられたサダト大統領としては、イスラエルに報復するには、武力に訴ふるより道はない。日本は外国と戦争するための軍備を放棄してゐるから、ソ連と一戦を交えて四島をとり戻すわけにいかず、且つかりに現下の国防軍を奪げてソ連につかみかかつても勝ち目はなし。

A ところが、エジプトでは、単独では自信はなくても隣国リビア、西方シリアと同盟を結んでおるから、よもや五年前の六日戦争の二の足は踏むまい。やるなら今だと判断したに違いない。

B ……必ずしも当然だとは思わぬが、力の均衡ができた今、殴り込みかけるチャンスでもあるし、何しろうるさいところだからね。国連でもほつとくまいし、米ソのかねあひもあるし、よしんば成功しなくても、一応義理は立つ

ますます好評の



は必ず成績をあげる飼料です

前山商店

養鶏飼料部

販売員 佐藤 豊

木口常治

藤武良郎

御礼

金一封

去る七月の入植祭演芸会の時御花をいただきました點、何かの都合で御礼がおくれまして申訳ありません。遅延の御詫をかねて、ここに御礼を申し上げます

G I 婦人会

松森様

わけだからな。まあ、やうして見るに手はないだろうね。

BA シリアの方はいつ宣戦したの？。エジプトと同一だというから、やはり十月六日かな。この方はイスラエルと、レバノンの間に押し出して、地中海に海港をもつゴラン高地に攻撃をかけて来た。この地域をイスラエルに取られてゐるので、エジプトと思ひは一つ。無念地帯だ。ここにはレバノンやパレスチナ、ゲリラが巣喰つていて常に中東のじよう乱を画策してゐるところだから、イスラエルとしても油断

して寝首をかかれるようなことはあるま
 A い。表題に第四次中東戦とあるが、四回
 も戦争してんのかなあ。

B 僕もよく知らんが、イスラエルが独
 立したのを不服として、エジプト軍が
 攻めこんで敗れたり、この戦に、のち
 の大統領、当時ナセル大佐も従軍して
 いる。それが第一の一九四八年だった
 そうだ。第二が六十五年の小競り合で
 、これも引分け、次が第三回の六十七
 年でナセル大統領がスエズ運河をイス
 ラエル船のみに封鎖、イスラエルの
 コシカカへ唯一の海港も封鎖という策
 に出たので、この戦争挑発にたまりか
 ねて、イスラエルがカイロ爆撃の拳に
 出た六日戦争だった。だから、こんど
 が第四回というわけだ。

BA どっちが勝つと思うかね。
 B さあ、そいつあ、わからん。三方
 四方アラブに囲まれた中の小国イス
 ラエルだ。尋常なら、さんざんにやう
 れるところだが、今日日の運命を予知
 しているイスラエルのことだ。何とか
 切りぬけるだろう。此の前のように鮮
 やかにいかんだろうが、国連が中に入
 る迄は、どちらも大丈夫だ。

A 僕は義経(判官)びいきというやつ
 でイスラエルに勝つてもういたいな。
 B 僕は遠慮なく言つと、双方撃ちつ撃
 たれつ野垂れ死寸前までやつてくれり
 やいと思ふんだ。こんなことをいう
 と嫌われるだろうが、僕等に関係のな
 い戦争だもの。火事のとさの野次馬同
 様、自分の家が焼けるのじやないから
 安心だ。中東の戦争なんか、所詮対岸
 の火事だよ。
 どっちが勝つても、どっちが敗れても
 かまわんようなものの、歴史が一変す
 るようでも困るな。

A エジプトもイスラエルも古い東征と
 由緒ある国だから、両方共生かしてお
 いて、せいぜい喧嘩してもらって、我
 々見物人をはらはらさせてもらい
 と、まあこんな具合に思っているんだ。
 B 君のようなことをいうと「世界平和
 主義者から呪われるぞ」

口あけて金歯なまめく吸入器 糸音
 妻も吸ふ煙草の煙 日の水し 米子
 爪を研ぐ猫のほせし木の芽かな マリア
 移民寺の嫌われ僧や 彼岸酒 糸音
 土更けの滅法かゆし木の芽ふく 双樹
 永き日に一人暮しの家広し 真水

生長の家
 コーエン会
 期日変更!
 ヤナセ先生のコーエン会は
 十月十九日 としてありますが(三ペーシ)
 シ二十五日夜八時とかわりましたから
 ご承知下さい
 イグレージャ生長の家

FABRIC DE GRANITO

Av. Rio Branco 5/6 C. Post. 23, Fone, 515
 ADAMANTINA S.P.

日本式及ブラジル式
 墓 碑 記念碑
 胸 像 石 燈籠
 石 白 も ち 白
 古い墓の修理も致します
 石材美術彫刻類一切製作
 アタマンチーナ市リオブランコ大通り
大西石碑工場
 大西文吉 邦函 二十三番
 電話 五一五番

ポストデガブリナ

迅速自動車洗滌

わずか三分間であなたの自動
 車がピカピカになります。

トロツカ、オーレオ
 イン グラツシマー



短時間に洗滌と注油
 給油が一瞬に達せら
 れます。

ドツマテ カシマス街
 演舞場の隣り
 ラヴァジマツト

セスキセンテナリオ

電話 三七一番

LAVA JATO
 SESQUICENTENARIO Fone 371
 PETROBRAS

Aviso de Cine Bastos

十月十四日(日) 九時半 十五日(月) 八時
 松竹 **内海の輪** 岩下志麻 夏八木勲 龍沢修
 天然色 中尾 彬 入江保則 三国連太郎
 あはたを殺せんとする男を愛せるか、兵器と淫蕩が塵づく岩下志麻、女成りの麗花な演技ノ
 十月十六日(火) 十七日(水) 両夜とも八時
 東映 **港町ブルース** 野川由美子 山口美奈子
 総天 森進一 小林千恵
 然色 賀川雪子 梅宮辰夫
 噂を告ぐる梅宮辰夫、遙に満れる野川由美子、むせび泣き喚う森進一、
 十月十八日(金) 八時 二十日(土) 九時半
 松竹 **初めこの愛** 加藤大介 加藤治子 島田陽子
 然色 加賀まり子 阪部妙子
 草苗光子 志垣太郎 岡田裕介
 愛はやさしいはずなのに、愛はつめたいななり、私の心を通り過ぎてゆく、少しは私にも愛をください、
 十月二十一日(日) 九時半 二十二日(月) 八時
 東映 **博徒外人部隊** 船山浩二 渡瀬恒彦
 然色 若山富三郎 安藤昇
 工藤明子 由利徹
 黒力団・沖繩に集結、再武装す、その生きざまは無情は驚き切る
 十月二十三(火) 二十四日(水) 両夜とも八時
 東映 **果暴方団 組長** 船山浩二 一色茶美
 然色 安藤昇 内田良平 川清三郎
 菅原文太 若山富三郎
 現代の黒幕権力、金パッチの世界をオールスターが演じる、
 十月二十六日(金) 八時 二十七日(土) 九時半
 東映 **影狩りほえろ大砲** 石原裕次郎 夏純子
 然色 内田良平 花菱アチャコ
 内田三樹夫 丹波哲郎
 幕府への挑戦か? 他藩へのおどかしか、巨砲が炸裂してあの三人がやって来た、

求人

養鶏場で働く

家族

家族の多いほどよし

左記へ御出で下さい

イヌビア

藤田農場

C.P. 27

ヒプリオテツカ 設置について

連邦令にもとまき、アレフエイツラに
 おいては、このたび図書館を作ることに
 なりました。パラパンのエジトラ
 カシールのベンデドルがバストス各
 区を廻っております。お宅へ訪問いた
 しました際は、趣意を賛成の上、何介
 の御寄付を賜わりたくおねがい申上げ
 ます。金額は何程でもよろしく、ノ
 タを差上げます。このノツダはインポ
 ストデレンダに入れることができます
 ご不審の点は山中市長又は崎田長磨へ
 御問合せ下さい。

此の運動は当分ついでに

アレフエイツラ
 デバストス